

## 試 合 規 定（グラウンドチャンピオン決定戦・選考会）

- ① 試合時間 a 試合時間は原則として、1 試合本戦 1 分 30 秒・延長戦 1 分・体重判定・最終延長戦 1 分とし、準決勝より本戦 1 分 30 秒・延長戦 1 分・再延長戦 1 分・体重判定・最終延長戦 1 分とする。  
高校生より本戦 2 分・延長戦 1 分・体重判定・最終延長戦 1 分とし、準決勝より本戦 2 分・延長戦 1 分・再延長戦 1 分・体重判定・最終延長戦 1 分とする。
- ② 防 具 a 幼年～2 年生（男女）は、**指定グローブ・指定足サポーター・指定アンダープロテクター・指定女子アンダーガード**を着用。  
（※足サポーターから膝が出ている場合は膝サポーター必要です。）  
**小学3 年生以上（男女）指定グローブ・指定足サポーター、指定膝サポーター・指定アンダープロテクター指定アンダーガード**  
b 小学生（男女）のヘッドガード着用は任意とするが、着用の際は前面を外すこと。ボディープロテクターの着用は・禁止。  
c 小学生女子は、3 年生より**胸部の指定チェストガード**を着用して下さい  
d 体重判定の時は、チェストガード・ヘッドガードを着用している場合は、着用したまま測定を行う。  
e 中学生・高校生は、**指定グローブ・指定足サポーター・指定膝サポーター・指定アンダープロテクター・指定アンダーガード**  
f 中学生以上の女子は**指定チェストガード**を着用して下さい。  
（サポーター類で著しくスポンジ等が消耗、また薄い場合は変更していただく場合があります）
- 減 点 故意によるサポーター全防具違反は減点 1 又は失格（コートに立つ前でも発覚した時点で減点 1 又は失格です）  
**※各サポーターは指定の物を各自で用意します**
- ③ 勝 者 一本勝ち・判定勝ち・相手の反則又は失格による勝ちにより判定される。
- ④ 一本勝ち a 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ちなどを瞬間的に決め、相手選手を 3 秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させた時には一本勝ちとする。  
b 技あり 2 回で一本勝ちとする。
- ⑤ 技あり 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ちなどを決め、相手選手が一時的にダウンもしくは戦意喪失し 3 秒以内に立ち上がった時、又倒れはしないがバランスを崩した時。  
足掛け技を含めて、倒れた相手を下段突きで決めた時は、タイミングその他によって技ありとすることもある。
- ⑥ 判 定 a 一本勝ち、失格がない場合は、主審 1 名、副審 4 名の内、3 名以上の審判の判定で決める。判定が定まらない場合は、延長戦 1 分を行う。  
b 延長戦によっても決まらない時は、**小学生は体重差 1 kg 以上・中学・高校生は 3 キロ以上**を有効とし、体重の軽い選手を勝者とする。ただし、準決勝戦以上は再延長戦まで行うこととし、決まらない時は体重差によるものとするが、それによっても判定が決まらない場合は最終延長戦により決定する。
- ⑦ 反 則 a 手技による首から上へ（首をふくむ）の攻撃  
b 金的蹴り、頭突き、貫手による顔面・首への攻撃及び相手をつかんだとき。  
c 倒れている相手に当てる攻撃、また背後からの攻撃を行ったとき。  
d 反則は悪質なものを除き注意が与えられ、注意 2 で減点 1。減点 2 で失格とする。  
e 相手に手掛けした場合又は掌底により相手を押す行為もしくは脇の下などに手を入れて持ち上げる行為。  
f 何度も場外へ逃げた場合。（審判員の判断による）  
g 審判員判断により、特に悪質な試合態度と見なされたとき。  
h 選手はいかなる事があっても、相手の道着をつかんではいけない。  
i 技のかけ逃げした場合。（蹴ってすぐに倒れる技等を繰り返すこと）  
j 故意に頭合わせ、胸合わせをした場合。  
k **太もも前面に対するカカトによる直蹴り。（関節にあたる恐れがあり危険であるため）**  
その他、審判員が試合の上で危険行為であると見なしたとき。
- ⑧ 失 格 a 試合中、審判員の指示に従わないとき。  
b 出場に遅れた場合、出場しないとき。  
c 粗暴な振る舞い、悪質な試合態度と見なされたとき。  
d 減点を 2 回重ねたとき。  
E 体重別のカテゴリーにて規定体重を超過していたり、規定体重に満たない場合。  
g 応援態度が悪質で目に余る場合は選手の減点又は失格もあり得、次回よりの出場をお断りする場合があります。  
h **試合時間内に嘔吐した場合。**  
i 悪質な行為が発見され次第、減点 1 又は失格となる場合があります（主催者判断による）判定に対する抗議は一切認めません。